

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1 - 2 3	令和5年度 第2回すみだ女性センター運営委員会		
開催日時	令和5年10月18日(水) 午前10時から午前11時40分まで			
開催場所	すみだ女性センター			
出席者数	<p>【委員】 13人</p> <p>内田 淳 大石 あつ子 国松 てるみ 坂根 慶子</p> <p>志波 洋子 杉山 敦志 高林 マリ子 武市 海里</p> <p>西澤 直子 眞能 貴代 (欠席:小西 純也) (50音順・敬称略)</p> <p>人権同和・男女共同参画課長</p> <p>人権同和・男女共同参画課男女共同参画主査</p> <p>すみだ女性センター館長</p> <p>【事務局】 総務部長 すみだ女性センター職員</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
	非公開(傍聴できない)			
議題	<p>1 令和5年度すみだ女性センター事業等進捗状況及び今後の予定</p> <p>2 各協力委員会活動報告</p> <p>ア すずかけ編集委員会</p> <p>イ すずかけひろば委員会</p> <p>ウ すずかけ講座委員会</p> <p>エ 情報資料委員会</p> <p>3 愛称の選定について</p> <p>4 その他報告事項(男女共同参画担当からの報告)</p>			
配付資料	<p>資料1 各協力委員会活動報告</p> <p>資料2 愛称名募集一覧</p>			
会議概要	<p>1 開会</p> <p>館長から会議の公開と議事録作成のための録音について了解を求め、了承された。</p> <p>2 総務部長挨拶</p> <p>3 議事(司会:委員長)</p> <p>(1) 令和5年度すみだ女性センター事業等進捗状況及び今後の予定</p> <p>館長:説明 資料なし</p> <p>【主な意見、質疑等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅若小学校の研究授業は、具体的な時間など詳細がわかるか。 (事務局) 11月29日(水) 多様な性に関する研究授業は、始めに梅若小学校の校内研究授業を実施し、そのあと日程を決めて講演会を行う予定である。講師は、すみだ女性センターの「にじいろ相談」の相談員である。講演会の詳細は、現在未定で、日程等が決まったら、委員の皆さんへ連絡する。 ・区立学校で行う研究授業等は、無作為に学校を選ぶのか、学校から依頼があったからなのか。 (事務局) 梅若小学校の場合は、区立小学校のなかで人権尊重教育推進校に指定されていることから、女性センターからご案内をして、多様な性に関する講 			

演を実施することとなった。また、豎川中学校は、学校から連絡があり、実施することとなった。

(2) 各協力委員会活動報告

各協力委員会の委員長から資料1を用いて報告。

【主な意見、質疑等】

特になし

(3) 愛称の選定について

資料2「愛称名募集一覧」に基づき、館長が【募集結果概要】と【選定の方法】を説明したうえで、【愛称の選定】について委員長が議事進行した。

【募集結果概要】

募集期間：令和5年9月11日から24日までの14日間

募集総数：26件

募集人数：25人

うちオンラインによる申込み：19名、応募用紙による申込み：6名

【選定の方法】

選定にあたっての留意点

ア 単語でインパクトのある言葉であること

イ 区の施設等で類似名称がある場合は、選定が難しいこと

ウ 広報誌やおまつりの名称として使用する可能性があること

選定の手順

議論したうえで「愛称名募集一覧」から候補を3つに絞り、再度、議論して最終的に愛称名を選定する。

報告事項

新愛称選定にかかる法律的な確認について：特許庁への商標登録については、単なる名前のみだけでは出願できず、また、商標として使用しなければ商標権の効力は及ばないと確認できたので、「愛称名募集一覧」に掲載された候補はすべて問題ない。

【愛称の選定】

選定 「愛称名募集一覧」の26の愛称名から候補を選定する

ア 主な意見等

- ・「エガリテ」は男女共同参画のサポート団体名で既にある。
- ・外国語の場合は、多重な意味や隠語で使われることがあるため注意すべきである。
- ・「エガリテ」はレストランや美容院の店名でも使われている。
- ・「ステラ」は、自動車車種名、会社名や商品名、人名に多く使用されている。
- ・「ブーケ」は『中央区立男女平等センターブーケ21』で使用している。
- ・「リエゾン」はフランス語で連携や橋渡しをするという意味で、語呂が良く「繋がり」という意味で良い。
- ・「リエゾン」はレストランや診療所名で使われている。
- ・「リエゾン」の一般的な意味は言語学で音と音の繋ぎで変化する時の状況に使う。また、フランス料理でソースなどによる「つなぎ」に使うこともある。これは本来のフランス語の意味である。
- ・「SUZUKAKE」のローマ字表記は、外国人の母語の発声の特徴によって異なった発音になってしまう可能性がある。
- ・Web検索をすると、「ココマチ」が「みんなが集まる広場」という意味で使っているところが多くあった。
- ・施設の名前が変わるこの機会に、愛称も変えたほうが良い。

- ・道路の街路樹として、新たにスズカケの木は植えてはいないという事なので、愛称「すずかけ」を変えたほうが良い。
- ・「ひまわり」、「アベリア」は、植物の名前であり、季語としても使われることから、通年でなく季節限定であるイメージが強い。
- ・施設名称「女性センター」が「共生社会推進センター」へ変わるが、「女性センター」の役割は終わっておらず、引き継いでいく必要があることから、「すずかけ」の愛称は残したほうが良い。
- ・「すずかけ」の愛称は、利用している皆さんに浸透しているので、今の愛称のままが良い。
- ・子ども、若者、お年寄りのすべての世代に知られるような「愛称」がよい。広く知ってもらえる「周知の方法」を模索しながら、新しい愛称で進めて行ければ良い。
- ・なぜフランス語を使うのか？「エガリテ」「セルクル」「リエゾン」

イ 「選定にあたっての留意点」をもとに候補を選定した。

No.1 アット!

No.4 いんく

No.6 ココマチ

No.7 すずかけ

No.11 すずかけプラザ

No.13 ステラ

No.16 すみなか

No.18 セルクルすみだ

No.19 ひまわり

No.21 ピアッツァ スズカケ、ピアッツァ フィオーレ

No.25 リエゾン

選定（「選定」の候補名から、さらに候補名を3つほどに絞る）

ア 主な意見等

- ・「セルクル」はサークルという意味もある。セルクルは円形の調理器具のフランス語名セルクルの意味で使われ、100円均一ショップでも売られている。
- ・外国語の単語の名称は、それを母語としている外国人には意味がわかるが、そうでないと愛称とした言葉の説明が必要となる。
- ・「すずかけ」は樹木の名であることを知らない人がほとんどである。
- ・言葉の意味に直結しなくても、インパクトがあれば良い。
- ・会話の中で「これから『すみだ共生社会推進センター』へ行きます」というよりも、わかりやすい愛称名のほうが、施設の所在を他者に伝えやすい。
- ・インパクトのある名称であれば多くの人注目し、施設として周知できる。
- ・「いんく」は、会話の中での発音や言葉のとらえ方で、施設名称としてとらえにくく、それこそ愛称となった場合に意味や説明が必要となる。
- ・「ピアッツァ スズカケ」「ピアッツァ フィオーレ」のように「スズカケ」の前に言葉が来るよりも、「すずかけプラザ」のように後に来る方が親しみやすい。
- ・語と語の間に「一字空け」がない愛称がよい。
- ・「ひまわり」は、同好会などのサークル名に使われることが多い。
- ・「ステラ」は車種名、人名のイメージが強い。
- ・「セルクル」は言いにくい。
- ・「ココマチ」は、墨田区内に「ミズマチ」「ソラマチ」があるので、「ココ

	<p>マチ」とあると印象に残り良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アット！」は記号が入っているので、インパクトがあり、お祭りの名称に使うと良い。 ・「すみなか」は、商標登録に既に登録されているか検索したが、行政の施設名称に関しての類似名称はないため問題はない。 <p>イ 委員の挙手（複数挙手可）により候補名を3つ程度となるよう絞り込んだ。</p> <p>No.1 アット！ No.7 すずかけ No.11 すずかけプラザ No.16 すみなか</p> <p>選定（「選定」で絞り込んだ候補より選定する）</p> <p>ア 主な意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プラザ」にはセンターという意味が含まれるのではないか。 ・「プラザ」が付くことによって、より分かりやすくなるという考え方もある。 <p>イ 委員の挙手により候補名から選定する。</p> <p>「No.7 すずかけ」と「No.11 すずかけプラザ」は、ひとつの候補として考え、選定された場合に「プラザ」について検討することとした。</p> <p>全票数13票により決選投票をする。</p> <p>「No.1 アット！」4票 「No.7 すずかけ」、「No.11 すずかけプラザ」 4票 「No.16 すみなか」5票</p> <p>選定結果</p> <p>「No.16 すみなか」 委員長から「No.16 すみなか」を愛称名として選定することが発議され、全会一致で選定した。</p> <p>選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すみなか」の「すみ」は「すみだ」から、「なか」は、「仲良し」「仲間」を想起させる。また「共生社会推進」の中核、中心となる施設になるように目指していく契機に繋がる。 ・センターの所在地は、墨田区の「押上」にあり、南部と北部の地域からみると墨田区の中心にあることを、区民は読み取ることができる。 ・ひらがな表記であることから、誰にでも分かり、親しみやすい。 <p>(4) その他</p> <p>男女共同参画担当からの報告</p> <p>「女性活躍×地域力 人生100年時代のライフ&キャリア」意見交換会 11月26日(日)開催の案内</p> <p>4 閉会</p> <p>館長より次回の運営委員会は、年明けに開催予定と説明した。</p> <p>本会で選定した愛称については、すみだ女性センター運営委員会の選定結果として区に報告し、区の決定後、1月発行の「すずかけ95号」に掲載し周知する。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">会議の概要は以上である。</p>
所 管 課	総務部 人権同和・男女共同参画課 すみだ女性センター（電話 5608 - 1771）